

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600109
事業所名	グループホーム向が丘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 小規模多機能型事業所が併設され、ボランティアとの交流や施設内の喫茶店等、複合施設としての特徴を活かして、地域交流を図っている。 地域行事には積極的に参加している。 職員が地域の消防団員であり、地域の防災訓練等に参加している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 複合施設合同で運営推進会議を開催し、行政・地域包括支援センター・自治会長・民生委員・知見者・家族等、参加者の活発な意見交換がある。 参加者から議題を出してもらい、協議をして参加者と共有している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区の福祉課職員・地域包括支援センター職員が毎回出席しており、ホームの状況は窓口に伝わっている。 認知症カフェ等の交流や、市から困難事例の受け入れの依頼・相談があり、良好な関係を築いている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪は多く、調査日もボランティアで参加している家族がいた。 家族と決めた目標を掲げ、家族の来所率が増え、良好な関係を築いている。 「爪が伸びてる」との家族の言葉から、職員会議で週1回の「爪切り日」を定めた。 「社長直行便」という家族から直接意見・要望が出せる仕組みもある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	